



ぶどうの枝

2024年
冬号

変化と向き合う時に

千葉キリスト教会 牧師 小濱 守宏

2024年は、皆様にとってどのような年だったでしょうか。

物価高騰の煽りを受け、様々な生活防衛術を講じたのでないでしょうか。

色々な変化が、コロナ元年の2020年から加速的に進んでいるように思えます。例を挙げればオリンピックでクローズアップされたLGBTQや温暖化対策による極端な菜食としての昆虫食、また、化石燃料から電気自動車へのシフトなどなど挙げればキリがありません。

この様に世界全体が気味悪いぐらい歩調を合わせています。現代はグローバル世界といわれていますので、この現象はごく自然な流れなのかも知れませんが、その流れに身を委ねても良いのでしょうか。

こんな時だからこそ、ちょっと立ち止まり聖書の価値観と今の現象を比べ、日常生活の方向性を決める時だと私は思います。

聖書は神について、出エジプト記の3章14節に次のように書いています。「神はモーセに言われた・・・『私はい、という者である。』」と。訳によっては、「私はある」と書かれています。

神は自己を「神はある」と表しています。つまり、神は、何者にも頼らず、神単体で変わる事なく存在し続けるのです。

私たちが礼拝している神は、永遠に変わることのない神であり、人類（私）を愛し続けて下さっています。神に愛されている事実は、激変する社会に向き合う知恵を私たちに与えてくれます。

時に変化は、苦痛とストレスを伴います。しかし全能者なる神は、色々な機会を通して私たちを永遠の命に導くと言う事を覚えたいと思います。

マタイ5章4節「悲しむ人々は、幸いである、その人たちは慰められる。」とあります。この「悲しむ」とは、悲しみと絶望を経験した者は限界を知り謙遜な品性へと変えられることを意味しています。

人は、変化を嫌いますが変化することを通してより一層神へと近づくのではないのでしょうか。

来年2025年からこのぶどうの枝が大きく変化します。これも時代の流れの一つかも知れませんが、これまでぶどうの枝を作ってくださいました関係者の皆様に感謝を申し上げます。

来年より担当者が変わりますがこれまで同様にご愛顧くださいますよう心より願います。またバトンを渡された新メンバーの皆様の上に神様のお導きがありますことをお祈りします。



2024年10月12日、小濱牧師の司式により、前田義雄様が信仰告白によるバプテスマをお受けになりました。ここに前田義雄様の「証」を掲載させていただきます。

私はイエス様を信じます

千葉キリスト教会 前田 義雄

満州から引き揚げて帰国した時は5歳でした。母親と一緒に千葉県多古町に住みました。食べるが大変でした。鍬や鎌を使って田んぼを作る手伝いから田植え、草取り、そして稲刈り、脱穀してお米が出来た時はみんなで喜びあいました。その米を炊いて食べたとき、白いご飯が最高に美味しいと思いました。

学校へ行く余裕はなく、小学校1、2年の時から丁稚奉公として八街の家に奉公にでました。朝早くから夜遅くまで、台所、便所、庭掃除、子どものおもひ、手の足りないところを手伝いました。

その後、水道屋の見習いとして働き、親方から知識や技術を習い、学び、実践を繰り返し、自分で水道屋として、独立することができました。役所の仕事からビルディングの設備工事等、忙しかったです。

71歳の時、脳梗塞で倒れ千葉大病院に1ヶ月入院しました。身体が思うように動くことができないので、水道屋をやめることを決断しました。86歳の時も脳梗塞が再発しましたが、入院、リハビリをして現在があります。

そんな時、従姉妹のゑち子と共に来られた砂長谷さんに出会いました。教会に行くようになったのは、今年5月ゑち子と一緒に教会を案内され、毎週来るようになりました。みなさんが声をかけてくれるので良

いところだと思いました。

聖書通信講座（真理の道）を勧められて1週間に1、2回のペースで教えてもらい、8月に修了証書がおくられてきて驚きました。回答添削には $\text{\textcircled{A}}$ の判が押してあり、うれしかったです。

学んでいくうちに、神様は愛である。私たちのためにマリアを通して人としてこられ、十字架で死に、三日目に復活したこと。そして今、天においてイエス様は私たちのために執り成しのお祈りをして下さっていることを知りました。更に、場所の用意ができたなら迎えに来てくれるという永遠の命の約束を知りました。

このイエス様に従っていきたいと心から信じます。教会に来るようになり、心が満たされています、恵みと平安をこれからも導いて頂きたいと思います。また罪のことがわかるように悔い改めさせていただきたいと思います。

わたしは、学校に行っていないので字は読めませんので、みなさま宜しく願いいたします。



バプテスマを受けられる
前田義雄様

AUTUMN BIBLE CAMPに参加して

千葉キリスト教会 児童・青年伝道部 永島 佳世子

2024年9月22日(日)～23日(月)の2日間、千葉県香取市にある小見川少年自然の家にキャンプへ行ってきました。

未信者の方や日帰り参加の方も含め、総勢15名が参加してくださいました。

カレー作りやボッチャ、キャンドルファイヤーをしながらの夕礼拝、だるまさんがころんだ、カヌー、ネイチャークラフトといった様々なプログラムを楽しみました。

ボッチャはパラリンピックでも実施されたスポーツですが、子供から大人まで年齢を問わず一緒に楽しむ事が出来たので、今後教会の皆さんとも一緒に出来たら良いなと感じました。カヌーも当日強風で実施が出来るかどうか直前まで分からず、ドキドキしていましたが何とか実施する事が出来ました。

2日間通してケガや体調不良の方もなく、楽しい時間を過ごすことが出来たのは神様のお守りのおかげだと感謝しています。

キャンプの参加者からの感想いただきましたので紹介します。

◇ 久しぶりの野外活動でリフレッシュでき

た。

- ◇ イベントも食事も満足。大浴場は足が伸ばせて気持ち良かった、カヌーもカレーも楽しかった。
- ◇ 初めて少年自然の家に行きました。海外の方も参加されて交流が深まって良かった。
- ◇ 様々なプログラムを楽しむことが出来て、とても有意義だった。皆で何かをやる事に意味があると思った。キャンプで共に時間を過ごす事で、土曜日だけの関わりでは知りえなかった事を知ることが出来、とても興味深かった。
- ◇ キャンプの内容がとても良かった、すべてが素晴らしく、どの瞬間も楽しかったです。
- ◇ どれも楽しかったが、一番はカヌーに乗ったこと。カヌーもカラフルで見た目もきれいだった。ボッチャではチームに分かれて円陣を組んでエイエイオー！の掛け声をかけて、皆で頑張れた。寝る前に部屋でカードゲームをしたり、カレー作りの合間に追いかけっこをしたのも楽しかった。



カヌー



ボッチャ



皆さんで集合

健康セミナーに参加して

千葉キリスト教会 書記 丸山 敦子

2024年6月22日午後1時から教会の食堂において久しぶりの実演会が行われました。

コロナ前には頻繁に行われていた健康に関するセミナーですが、実に4年振りの開催でした。

今回のセミナーは久慈川教会の伊東律子姉による砂糖を使わない発酵あんことチョコレート作りの講習でした。久しぶりの講習とあって30名を超す参加者があり、食堂は発酵あんこって何？麴を使ったチョコレートって何？という興味津々の顔と笑い声で楽しい雰囲気が始まりました。

麴の働きで小豆のでんぷん質を糖化させて砂糖を使わずにヘルシーで甘いあんこができるとのことでした。

始めに驚いたことは発酵させるのに炊飯器の保温機能を使うという発想にビックリしました。保温時間は8時間。保温機能は時間が経つと温度が上がるということで、3時間に一度、ぬれ布巾を再度湿らしてかけるなど、何度も繰り返し試して一番良い方法を見つけてくれた伊東律子姉に一番ビックリしました。

あんこ作りは前日から小豆を煮てあく抜きが必要なので、ちょっと手間がかかるなと思いました。チョコレートは純ココア、米麴、60℃のお湯でできるので、もう一度作ってみたいと思いました。

玄米麴を使うとコクが出るとのことですが、米麴より甘味が少ないとのことでした。これらの説明により、伊東律子姉が何度も試行錯誤してくれた努力と身体を思うお気持ちが伝わりました。

持ち帰ったあんことチョコレートを次の日に炊飯器保温機能で8時間発酵させて完成させました。あんこはそのままおやつとし

て食べました。結構ずっしりとした食感なので、少ない量で満足なおやつタイムとなりました。チョコレートは朝食のパンにぬりチョコレートトーストとして、約一週間食べることができました。100g程度で一週間もつのはかなりコスパにもつながるなと思いました。甘さも充分で美味しく食べることができました。発酵作用のため、お通じが良くなったことを実感しました。

その他に抗酸化作用もあることや、発酵する段階でビタミン類の栄養価が増すとのことでした。

砂糖の代わりに甘味はドライフルーツや蜂蜜等でも代用できるのですが、お財布的には結構かかります。

色々試してみましたが、一番安価で体に優しくて良いものを教えて頂き感謝でした。

講師の伊東律子姉、アシスタントの辻和香姉には前日と今朝早くから準備してくださり、本当に感謝しています。

神様からに祝福がお二人にありますようにと感謝と願いを込めてお祈りさせていただきました。



健康講話「乳がんについて」に参加して

千葉キリスト教会 栗山 直美

2024年7月15日(土)に、東京衛生病院の外科医として働いておられる斎藤之彦先生をお招きして、午前中の礼拝に続き午後からは「乳がんについて」の健康講話が持たれました。

斎藤先生は、「食べられなくなる人生は悲しすぎる。そのような患者さんを助けられるのは外科医だ。」と考えて外科医の道を選ばれたそうです。

先生のお話はとても分かりやすく、お話の端々から先生の実直で優しいお人柄が伝わってくると同時に、ユーモアも感じられとても祝福された時間になりました。

内容は大きく3つに分かれていました。

①乳がんの疫学基礎知識

日本人の死亡原因の26.5%が癌によるものであるということでした。その中で女性の癌の1位が乳癌であり、最近のデータでは8人に1人が生涯において乳癌の診断を受けるといことです。ただ、治る確率も高いので、死亡率としては4~5番目になり、いかに早い段階で発見できるかが重要となるということでした。

②乳癌を早期発見するには

乳癌検診とブレストアウェアネスが大事になってくるということでした。ブレストアウェアネスという言葉は聞きなれない方も多いと思いますが、簡単に言うと自分の乳癌の状態に関心を持つということだそうです。

- ・自分の乳房の状態を知る
- ・乳房の変化に気を付ける（しこり、血性分泌物）
- ・乳頭乳輪びらん、皮膚陥没
- ・変化に気づいたら、医師に相談

③乳癌の診断、治療

乳癌の治療にはきちんとしたガイドラインがあり、全世界共通だそうです。どなたでも安心して同じ治療が受けられるということでした。

また、乳癌の予防には大豆が優れているということで、SDAが推奨するニュースター健康法が大切と話されていました。

私も、ニュースターを取り入れた生活と、毎日の観察と、年に1回の乳癌検診を受けるようにしたいと強く思いました。



「1週間ニューススタート」を体験して

千葉キリスト教会 長老 浅川 千鶴子

今年の7月、8月、9月、10月の計4回、千葉教会の小濱牧師が中心となり「1週間ニューススタートプログラム」を行いました。

6～7名のライングループを作り、毎日、体を鍛える事、霊を整える事についてのお題が小濱先生からラインを通して伝えられ、与えられた題について、各自が実践出来たこと、出来なかったこと、感想などを毎日報告するという形で行われました。

参考書は「明日の健康を作る今日の習慣」を使いました。

かつて、私は病を負って教会の門をくぐりましたのでSDAの推奨する健康改革に感謝しています。

バプテスマを受けて食生活を改善すると共に霊の食物であるイエス様の御言葉を貪るように頂きました。今も、御言葉と食生活改善の両方にチャレンジしています…

ニューススタートは、50年近くのクリスチャン生活のなかで何回か繰り返し参加してきました。実践するたびに体力回復の恵みがあたえられました。

参加することによって、その都度身体にすり込まれ、実践している事があります。それは、散歩と水を飲む、菜食中心の食事を知らず知らずに、選んでいる自分がいます。祈りの行進は、意識しなくても、身体が歩く事を欲するようになっていきますので気持ち良くなります…

今回は今年4かい目のチャレンジで、チーム分けして取り組みました。ラインで知らない方々と繋がり、その方でなければ体験できない健康改革をシェアしてもらえました。その中で大勢の方が身体の病を抱えながらも少しでも元気になって「イエス様を

伝えたい」との願いをもって参加していることが、伝わってきました。

その方々の体験の中でチョコレートは効能を教えてくださいましたので私も実践しているところです。

一人ではできない事もみんなで分かち合うことに、ニューススタートの喜びが有ることを覚えました。

最近全人的な救いという言葉に出会いました。

イエス様は言われます「霊も、心も、身体も健やかにあるように」(1テサロニケ5:23)と。

この御言葉を素直に受けたいと願っています。



西洋ひいらぎ

聖書について（その5）

千葉キリスト教会 長老 渡邊 邦男

今回は最終号ということで、私自身がクリスチャンとして聖書をどのような位置付け、また、どのような信仰をもって読むのか、について書かせていただきます。

しかし、個人的な見解や価値観等も含まれますので、お含み置き下されば幸いです。

さて、Ⅱテモテ3：16、17では聖書をこのように位置付けています。「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。こうして、神に仕える人は、どのような善い業をも行うことができるように、十分に整えられるのです」。

聖書の著者は実際に筆記具を用いて書いたのは人間であっても、著者が、神の靈感に導かれて書いたものである。すなわち、神の想いや御心がその表現の基盤にある。と、いうことが出来ます。

さて、私はこの位置付けを前提として、「聖書は神から、人に宛てたラブレターである」という思いを持っています。

何故ならば、神が私たちを愛するその愛は人間の想いはるかに超えたものであり、その想いを伝え、どれ程人を愛しているかを表現するのならば、この聖書の厚みでは不十分だと言えます。おそらく、スカイツリー位の厚い聖書を造ってもまだ足りないと私は感じています。

現在、私たちが用いる聖書（旧約・新約）が、その厚みを限界ギリギリまで縮小したものであると私は思います。

なぜかという、「神に出来ないことは何一つない」（ルカ1：37）と言われる神が、有限な人間に、その本質を知らせる為に、聖書という手段を用いておられるからです。

では、その極限まで圧縮された聖書をどのように読んでいくべきか、ということ

ですが、答えは、「信仰をもって読む必要がある」です。信仰をもってとは、聖霊の助けを借りて、ということを含みます。

では、信仰を持っていない人が読んでもダメなのか、或いは、読むべきではないのでしょうか。

どのような人も、初めて聖書を読むとき、「すでに信仰を持っています」と言える人はほぼおられません。では、どういうことでしょうか。それは、「聖書を一旦読み始めたならば、一生読み続けるべきである」と思うからです。

実は、ここに「聖書は神から人に宛てたラブレターである」という意味合いがあるのです。あなたは、恋人からいただいたラブレターをどのように扱うのでしょうか。何度も何度も読み返し、大切に保存しないのでしょうか。

夜眠る前に、朝の目覚と共に恋人に対する思いを募らせたのではないのでしょうか。

神の愛は、私たちの想像をはるかに超えたものであり、数えられる程度の読み返しで、神の御心を知ることなど到底できません。ですから、聖書は一旦読み始めたのなら、死ぬまで読み続けるべきものであり、それでも理解しがたいことがあるのなら、天の国で、神に聞けば良いのです。

神は、聖書を通して私たちに、こう約束しておられます。「わたしたちは、今は、鏡におぼろに映ったものを見ている。だがそのときには、顔と顔とを合わせて見ることになる。わたしは、今は一部しか知らなくとも、そのときには、はっきり知られているようにはっきり知ることになる」（Ⅰコリント13：12）。



「ぶどうの枝」をご愛読いただき、ありがとうございました

◇ぶどうの枝は2015年12月1日が始まりでした。それ以来約10年、皆様のご協力を頂き、また、読者の皆様の応援を頂き発行を続けることが出来ました。感謝です。

◇「ぶどうの枝」の名前の意味するところを振り返ってみたいと思います。聖書は、イエス・キリストを「ぶどうの木」、信仰者を「その枝」に例えています。ぶどうの枝はぶどうの木に繋がっていることで、生命を保ち、実を結ぶことができます。「実を結ぶ」とは、信仰生活の中で愛や喜び、平和、忍耐、親切などの「聖霊の実」（ガラテヤ5:22-23）を生み出すことを指します。名前の「ぶどうの枝」に副った活動が出来ましたことに感謝です。

◇ 描画力の素晴らしいWさんにも支えて頂き感謝です。各ページの描画はWさんの作品です。

定期集会（開催場所：千葉キリスト教会 集会室、礼拝堂）

- ◇ 聖書セミナー；対面とオンラインで行っています。
- * 日時：毎月、第一・第三水曜日。午前10時～11時30分。
- * テーマ：「イエスのみ名によって」を研究します。
- * 講師：千葉キリスト教会 牧師 小濱 守宏
- ◇ 食料料理教室；奇数月の第一月曜日に開催します。
- * 次回は2025年1月6日（月）午前10時～13時。
- ◇ チャレンジクッキング；まだ定期開催はできませんが、開催の時は、千葉教会ホーム・ページにてご案内します。
- * 対象：子供の皆様（小学生以下は保護者の御同伴をお願いします。）
- ◇ チャーチコンサート；2024年5月12日（日）の第13回チャーチ・コンサート以降、12月22日のクリスマス・コンサートは会場の空調の不具合で中止とさせて頂きました。今後の開催については、都度、千葉教会ホーム・ページにてご案内します。
- * 次回は、2025年6月22日（第4日曜日）にチャーチ・コンサートを予定しております。



安息日学校（毎週土曜日）

☆賛美礼拝：しばらく中止

☆聖書の学び：午前10:00～10:40

安息日礼拝（毎週土曜日）

☆千葉キリスト教会：午前11:00～12:00

☆シャローム若葉虹の家：午前9:30～10:10

祈祷会

☆毎週、火曜日夕午後6時及び水曜日朝午前8時30分から祈祷会をしております。

【編集後記】「ぶどうの枝」2024年冬号をお届けします。

2025年から新しい教会新聞が発行されます。楽しみにしててください。

SDA千葉キリスト教会

〒264-0028

千葉市若葉区桜木5丁目15番1号

旧法務局前通り：3、4階 千葉キリスト教会

1、2階 シャローム若葉

電話：043(231)3620

FAX：043(231)1634

Email：sda-chiba@rio.odn.ne.jp

ホームページ：

sda-chiba.org



★発行責任者：

小濱 守宏 牧師

★スタッフ：

酒井 闕 太田 博司

綿引 秀子